

2000

2月号



371

広報

かわち



成人の日

2000年20歳—私たちの時代



1月10日、成人式（祝賀パーティー）

祝成人式



150人が大人の仲間入り

2000年1月10日、ハッピーマンデー導入後、初の「成人の日」。当町では今年、150人が大人の仲間入りをし、20歳を祝って環境改善センターなどで式典や祝賀パーティーが行われました。

式典では、新成人を代表して佐藤幸二さん（下金江津）が『誓いの言葉』を宣誓し、また、『はたちの提言』が各分館ごとに7人の代表によって行われ、二十歳になった感想や抱負などを発表しました。

誓いの言葉

さとう
佐藤

こうじ
幸二さん

（下金江津）



本日は、私たちの為にこの様な盛大な式典を催していただきまして本当にありがとうございます。改めて二十歳になった重さを自覚した次第です。

また、ただ今は野高町長さんをはじめ、ご来賓の皆様から心温まる祝福のお言葉や教訓を頂き、成人者一同心よりお礼申し上げます。

私たちは、生まれてこれまで数えきれないほど多くの人と出会い、ふれあってきましたが、学校・地域・職場そして家族の中でも、今までは未成年ということで、いろいろ大目に見てもらいました。でもこれからは、一人前の社会人として恥ずかしくないように、高い志を持って、人間形成を図りたいと思っております。

二千年という新しい年に向けて、強く元気に逞しく羽ばたくことを宣言し誓いの言葉とさせていただきました。

二十歳の提言

自分の「可能性」

を信じ

おの
大野

あきひこ
明彦さん

(第1分館—宿)



人生には、幾度となく、新たなスタート地点があり、今日この良き日に「成人」というスタートを歩き始めます。両親はじめ、周りの方々に支えられ、あつという間の二十年代でした。

社会に対して無関心、そして自分の考えの甘さを反省すると同時に、徐々にではありますが、複雑化して



いる社会情勢、目をそむけたくなるような悪質な犯罪など、色々な面での厳しさを今感じています。

時間は止まらない、後戻りもできない、時代の流れを見つめるだけでは、何も進歩しません。その流れの渦に恐れる事なく、何事にもチャレンジ、スポーツ精神の「勝・負より参加すること」まず始めなければ結果はありません。自分自身の「可能性」を見つけたし、それが社会人としての自覚につながると信じます。

家庭、地域が

少しでも

明るくなるように

坂本 敬志さん

(第2分館—北丸田)

今日、ここに成人式を迎えました。特別な感激、沸き上がる喜び等があるわけではありませんが、一人の大人として、選挙権を始めとして、こ



れからの社会生活上必要な権利と義務を与えられたものであると思われ

ます。

私は現在、学生の身分であります。様々な面で両親に迷惑を掛けているのは十分自覚しています。金銭的な負担は両親の義務であるのかもしれないが、自分が学生としての義務を果たしているのだろうかと考えますと必ずしもそうとは言えない気がします。私は家の事に関し、今まで殆ど手伝いをしていませんでした。今回、母が軽い病気をし、入院した事により、家事の一部を手伝う事になりました。掃除、洗濯、買物等、ほんの2、3日でその重労働大変さが改めて実感できました。

成人式を無事迎えられた事に感謝し、これからは義務の範囲を広げていかなければなりません。毎日の家事の手伝い、地域との交流等、自分が努力することにより、家庭内が、地域が少しでも明るくなればこれに勝る喜びはありません。

夢に向かい

努力を惜しまない

決意と覚悟

ひらかわ
平川 文人さん

(第3分館—遠下)



社会という人間が生きていく為に必要なルールの中で、私たちは、この先自然の摂理に従い、子孫繁栄の為に人間が人間であるためのより善い世界を形成していかなければなりません。その為には先人たちの教えを尊び新たな考えの基で自分という個人としての個性を持ち、人間という地球的な民族としての融合を果たして、永久平和という人類の願いのものを完遂しなければならぬのではないのでしょうか・・・

さて、二千年という新たな区切りの年を迎え、様々な政策が実施され

二十歳の提言

るとは思いますが、現在も続く経済不況、そして宗教的な問題等我が国日本は今、さまざまな難題を抱えております。正に各のごとく引用され、世間を騒がしている世紀末そのものではないでしょうか。そんな中で今日この目成人を迎えた私たちに求められているものは、責任と自覚を持つことでもあります。社会人という人生の大半を占めるであろう時期は、個人的にも社会的にも最も輝く時期ではないでしょうか。その人生の大舞台で私たちは一歩一歩成長していくのです。その中で責任というものが重要視されるわけです。

これからの社会、今までは違った新たな世界が私たちには待ち受けています。自分を持ち、未来を見据える目を持ち、柔軟な思考を持って、社会というこの先、私たちの在るべき世界に立ち向かっていき、自分の夢を目標にして、それを実現できるように努力を惜しまないその決意と覚悟を二十歳の提言といたします。



自分というものを

見つめ直して

さわべ
澤邊

ひろし
広さん

(第4分館—愛宕町)



今日、一月十日晴れて成人式を迎え、社会人としての仲間入りを果たすことができ誇りに思います。私たちは、これまで生きてきた中でも、さまざまなスタートラインを見つめ、色々な困難を乗り越えつつ、一歩一歩確実に歩んできました。そして今ここで自分も含めみんなが、「自身自身の新たな社会人生への旅たち」という名を掲げたスタートラインに立ち、そしてその出発地点を静かに見つめていることでしょう。

さて、今年で千年代から二千年代へと時代が移り変わり、その中で、千年代から受け継がれるもの、そして消滅していくもの、色々あるに違いありません。それからこの先、形ないもの、つまり未知なるもの・・を形にしていくのは我々の役目でもあります。何故なら、二千年という新しい年代の社会人としての第一期生であり、また、今までの先輩たちが守ってきた社会を受け継ぎつつ、新しい社会を築き上げる原動力となるからです。そのためにはまず、「自分」というものをもう一度見つめ直す、つまり、原点に戻る必要があるだと思えます。時代が移り変わると、科学がどれだけ進歩しようとして、自分の意志、希望、夢、そして愛するという気持ち、これらは変化したり、消えて無くなってしまふこともありませぬ。この時代を動かす、科学を進展させたり、つまり、社会全体を動かしているのは我々人間です。だから、社会がどうこうというよりもまず、自分の立場というものをよく考え、それから行動へと移すことが先決であると思えます。

これからの二十一世紀を生きていく上で、それらの考えをベースにし、また、自分自身「人生方程式」を成り立たせて、社会人生への第一歩を踏み入れていきたいと思えます。

大人への第一歩

はせがわゆき
長谷川由季さん

(第5分館—下加納)



本日、無事に成人式を迎えることができ、私自身たいへん喜んでいます。それとともに一緒に歩んで来た家族友達、お世話になった人たちに感謝しなければなりません。何故ならば今まで自分一人で生きてきたような顔をしてしまう時があるからです。

二十歳という大人への第一歩をちょうど節目の二千年という年に当たり、新たな気持ちで迎える事ができました。正直言って、二十歳にはなったものの大人になるという事をまだ実感していません。また、これから社

会へ出て、どんな事が待ち受けているかわかりません。しかし、臆病になっただけは何も出来ないで積極的に社会の輪の中に入って、一つ一つ覚えていきたいと思います。大人への仲間入りをしたことで、更に出会いの幅も広がり自分をもっと成長させる事が出来ると思います。しかし、これからは自分の行動に対してつねに責任と言う二文字が付いてきます。現在学生の人や、もうすでに社会に出て働いている人など、それぞれの立場において行動しなければなりません。今までと生活は変化しなくとも心、気持ちはだいぶ変化しなければ大人になったとは言えないのではと思います。

最後に、少しでも社会に貢献出来る様に日々勉強したくさんの人との出会いを大切に自分自身を大きくして行きたいと思えます。まだまだ未熟な私たちですが、これまでと同様に温かく見守っていただきたいと思えます。



自分の行動に

自覚と責任を持つ

おおの としかず

大野 俊一さん

(第6分館—下金江津)

成人を迎えるにあたり、月日の立つのは早いもので私たちは二十歳となり、新たな出発点に立たされました。私はこれまで両親をはじめ学校の先生方地域の皆様方に助けられ、時には迷惑も掛けてきました。こうして成人式を迎えられるのも、皆様方のおかげだと深く感謝いたします。これからは、未成年だからと言う甘えを無くして大人として社会に認められる様、自分の行動に自覚と責任を持つて行きたいと思えます。

また、我が国では経済不況に加え様々な社会問題が起きています。私たちは社会の一員として多くの経験を重ね、自分に磨きをかけて二十一世紀に向け様々な問題に対し自分の意見を持ち、また、その意見が社会に発言できる様日々努力して行きたいと思えます。

自分を大切に

しながら成長

していきたい

たなかゆかり

田仲由香里さん

(第7分館—十三間戸)



二十世紀の終わり千世紀スタートという歴史の区切りの大切な年に成人式を迎えました。

生を受けての二十年間を振り返れば、親や先生先輩そして地域の方々に折りあるごと直接間接の教えを受けて成長してまいりました。感謝の気持ちで一杯です。今日からは、大人としての第一歩を踏み出すわけですが、私たちが迎える二十一世紀は、今以上の変化の激しい時代であろうと言われています。そんな中、私た

ちがしなければならぬことは、二十世紀に残してくれた良いことを引き継ぎ、次の世代の子供たちが明るく楽しく安心して暮らせる世の中を造りだすことだと思えます。このことをしっかりと受けとめて、自分の行動に責任を持つこと、他人に迷惑をかけること、何かをやり終えた時に後悔しない自分でいられるよう自分を大切にしながら成長していきたいと思えます。



二十歳の提言

第4回河内町議会定例会

平成十一年第四回河内町議会定例会が、十二月六日から十日まで開かれ、報告三件、一般会計補正予算などの議案十四件、意見書一件を審議可決し、また、冒頭で野高町長が諸報告を行いましたので、その概要をお知らせします。なお、一般質問の概要については、次号でお知らせします。

諸報告 野高町長

本年は天候に恵まれて稲作の成育もよく豊作の秋でありましたが、米価も安く農家の方々には大変厳しい状況ではなからうかと思えます。転作関係についてはこのような状況の中、皆さん方のご協力をいただき100パーセント達成することができました。また、来年度の面積につきましては、今年度と同じ907ヘクタールの指示がまいつておりますが、今年度同様農家の方々の経済的にマイナスにならないよう検討したいと考えております。

農家の経済活性化を図るために直販センターを建設し、ブランド米の販売はもちろんのこと、運営にあたってまいりましたが、お陰様を持ちまして順調に運営を致しているところであります。また、株式会社ふるさとかわち独自のPR事業や町でのPR事業を行ってまいりましたが、今日6日から8日までの3日間東京亀戸駅にて町PR事業を行っております。どうか、皆様方におかれましてもご協力方お願いを申し上げます。

10月10日町民運動会、11月3日いきいき祭と、町あげてのイベントが盛大に開催され、10月17日には敬老福祉大会を実施致しました。皆さん方には多数ご出席をいただきましてありがとうございます。毎年行っております地域懇談会が11月8日から各分館ごとに

行ってまいりました。住民の皆様方から、ご意見あるいは要望等を賜りましてこれからの町政にいかしていききたいと考えております。

2002年ワールドカップに向け、新東京国際空港の第2滑走路建設が決定をいたしましたところ。一部反対により、2180メートルと縮小しての建設であります。河内町にとりましては騒音区域の拡大が懸念されます。この問題につきましては、空港公団と協議をしてまいります。

新年度予算編成時期に入りました。来年度も大変厳しい予算編成が強いられることと思えますが、住民生活最優先の予算編成を考えております。皆様方のご協力をお願い申し上げます。報告とさせていただきます。

報告

河内町特別職の職員の給与並びに旅費および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の専決処分について

緊急雇用対策で県が創設した緊急地域雇用特別基金の活用で、小中学校の強化指導等の補助員を非常勤特別職として教員免許を有する人を採用するための条例改正の専決処分承認されました。

平成十一年度河内町一般会計補正予算(第三号)の専決処分について

右、条例改正により歳入歳出それぞれ四、五〇〇千円を追加



議会だより

議会だより

し、予算の総額を四、五五三、二七二千元とするもので承認されました。

第三セクター「株式会社ふるさとかわち」に関する経営状況の報告について

第三期経営状況が報告され承認されました。

議案

河内町少子化対策基金条例の制定について

国において少子化対策の推進のため、臨時特例の措置として補正予算が組み入れられ、河内町の少子化対策の適正な普及促進を図るため、条例を制定するもので可決されました。

河内町リサイクルセンターの設置および管理に関する条例を廃止する条例について

龍ヶ崎地方塵芥処理組合の新清掃工場の完成に伴い、リサイクル業務が同工場で実施されることとなり、本条例を廃止するもので可決されました。

公の施設の区域外設置及び他の団体の公の施設の利用に関する合意について

東町農業集落排水事業管渠施設整備に伴い、隣接する平川地区への施設の設置と住民の利用について、東町より協議の申し入れがあり、議会の議決を求めるもので可決されました。

土地改良事業計画の変更に
ついて

大規模で公共性の高い土地改良施設に事業内容の拡充がなされたことに伴い、布鎌排水機場及び金江津幹線排水路が該当になり、議会の議決を求めるもので可決されました。

土地改良事業の事務の委託の
変更について

基幹水利施設管理事業の拡充変更に伴い、規約の一部を改正し、東町と協議することについて議会の議決を求めるもので可決されました。

稲北地方病舎組合の解散に
ついて

伝染病予防法が廃止されたことに伴い、組合での共同処理する業務が消滅することとなり、平成十二年三月三十一日をもって解散するにあたり、議会の議決を求めるもので可決されました。

稲北地方病舎組合の解散に伴う財産処分について

組合の解散に伴い残余財産の処分について、協議の申し入れがあり議会の議決を求めるもので可決されました。

平成十一年度河内町一般会計補正予算（第四号）について

歳入歳出予算の総額に一八一、三〇八千円を追加するもので、歳入の主なものは、国庫支出金七一、五六七千円、県支出金二三、〇六七千円、繰越金四三、六九〇千円、町債五七、九〇〇千円、歳出の主なものは、少子化対策事業費一五、一四七千円、国の緊急経済対策の一環で前倒し事業となる公営住宅建設事業第二期工事一五四、九五〇千円で可決されました。

平成十一年度河内町国民健康保険特別会計補正予算（第三号）について

歳入歳出予算の総額に一六、八五七千円を追加するもので、歳入については、繰越金一五、三七八千円、国庫支出金一、四七九千円、歳出については、老人保健拠出金一四、七二二千円、総務費一、八一六千円、保険給付費三一九千円で、可決されました。

平成十一年度河内町下水道事業特別会計補正予算（第三号）について

歳入歳出予算の総額に八九千円を追加するもので、歳入については繰越金八九千円で、歳出については、下水道建設費八九千円で、可決されました。

平成十一年度河内町水道事業会計補正予算（第一号）について

第三条予算収益的支出を五、一三五千円減額し、第四条予算資本的支出を一、八九八千円増額するもので、第三条予算収益的支出の内容は、県企業局から

議会だより

の水道水の使用料金の改定に伴う受水費三、二一六千円の増額、工事費組替えによる修繕費九、三九八千円の減額、旧配水ポンプの除去による固定資産除去費一、〇四七千円の増額、第四条予算資本的支出の内容は、工事費組替えによる配水ポンプ更新工事九、三九八千円の増額、浄玄飯橋にかかる配水管工事七、五〇〇千円の減額で可決されました。

河内町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

平成十一年十一月十八日、国において「一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律」が成立し、先に行われた人事院勧告を実施するものであり、国に準じ職員の給与に関する条例を改正するもので可決されました。

河内町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、育児休業中の職員が期末手当及び

勤勉手当の基準日において勤務実績がある場合は在職期間等に応じて期末手当、勤勉手当等を支給する旨本条例に加える改正で可決されました。

河内町職員の懲戒の手續及び効果に関する条例の一部を改正する条例について

地方公務員法の一部改正に伴うもので、国家公務員退職手当法第七条の二第一項により規定する公庫等の法人を本条例に定める改正で可決されました。

意見書の提出

について

関係各大臣宛の、聴覚障害者の社会参加を制限する欠格条項の早期改正を求める意見書を可決しました。



新春恒例の消防出初式が1月9日、消防団員や関係者ら約300人が参加して、環境改善センター前の駐車場で行われました。

団員の皆さんは、人員、服装、機械器具の点検などをきびきびした動作で行い、今年一年の消防活動への決意も新たに防災にかける意気込みをアピールしました。

この後、環境改善センター内に会場を移し、野高町長からの講評・訓示、優良分団や団員の表彰後、来賓の方々の祝辞をいただきました。なお、受賞者は次のとおりです。

消防出初式

消防活動への決意新たに

■消防庁長官表彰 (敬称略)

・勤続15年以上退団者

岡野孝一 大野 透 真木古典

■県知事・県消防協会会長表彰

・勤続5年以上15年未満退団者

飯島憲司 仲久木克美 寺本勝

高松 泰

小菅 暁 山中佑二 飯塚弘身

荒井芳夫 伊藤雅雄 大竹英行

飯田禎一 藤ヶ崎勝廣 江口善庸

菅沼甚一 飯塚 稔 榊原久利

塚本 功

■県消防協会県南南部連絡長表彰

功 功 功 功 功 功 功 功 功 功

功 功 功 功 功 功 功 功 功 功

功 功 功 功 功 功 功 功 功 功

功 功 功 功 功 功 功 功 功 功

功 功 功 功 功 功 功 功 功 功

功 功 功 功 功 功 功 功 功 功

功 功 功 功 功 功 功 功 功 功

功 功 功 功 功 功 功 功 功 功

功 功 功 功 功 功 功 功 功 功

功 功 功 功 功 功 功 功 功 功

功 功 功 功 功 功 功 功 功 功

功 功 功 功 功 功 功 功 功 功

功 功 功 功 功 功 功 功 功 功

功 功 功 功 功 功 功 功 功 功

功 功 功 功 功 功 功 功 功 功

功 功 功 功 功 功 功 功 功 功

功 功 功 功 功 功 功 功 功 功

町のできごと

新町議会議員決まる！

任期満了に伴う河内町議会議員一般選挙が二月六日、町内八カ所の投票所で行われ、即日開票の結果、一六人の議員が決まりました。投票率は、八三・一七％（前回は八九・〇九％）でした。新議員一六人の内訳は現職十五人、新人一人です。

私たちの大切な一票から生まれた町民の代表者一六人の皆さんです。二一世紀に向け、住みよい町づくりのために活躍が期待されます。

河内町議会議員一般選挙当選者

氏名	得票数	年齢
篠本新一	675票	50
大竹博	619票	56
長谷川重男	616票	58
宮本秀樹	547票	48
大野佳美	514票	49
廣瀬裕	509票	38
草川一夫	481票	59
酒井光生	467票	56
山田一美	451票	58
雑賀正幸	449票	66
福智正之	436票	55
秋山文男	420票	50
田仲重雄	409票	64
岡田金男	371票	58
石川律夫	281票	52
牧山龍雄	263票	47

(得票数順)

投票者総数	7,826
有効投票	7,751
無効投票	75

投票率は83.17%

投票所別投票状況

投票所	選挙当日の有権者数	投票者数			投票率
		男	女	計	
第1投票所(源清田小学校)	1,750人	692人	764人	1,456人	83.20%
第2投票所(公民館第1分館)	1,288	513	555	1,068	82.92
第3投票所(福祉センター)	1,314	526	562	1,088	82.80
第4投票所(長竿小学校)	1,462	605	633	1,238	84.68
第5投票所(田川共同利用施設)	492	206	202	408	82.93
第6投票所(公民館第5分館)	622	230	267	497	79.90
第7投票所(金江津小学校)	2,001	763	881	1,644	82.16
第8投票所(田園都市センター)	481	218	209	427	88.77
合計	9,410	3,753	4,073	7,826	83.17

平成10年度決算のあらまし

町の家計簿

平成10年度の歳入歳出決算が、昨年12月町議会定例会で認定されました。「住みよい町」づくりのために使われたお金（一般会計）は58億292万円でした。
10年度決算のあらましをお知らせします。



民生費

福祉と明るい町づくりに

保育所運営費	2億5,958万円
老人福祉費	1億4,227万円
社会福祉総務費	1億3,701万円
福祉センター管理運営費	8,039万円
身障者福祉費	1,801万円
国民年金費	1,881万円
介護保険事業費	1,519万円
..... など	

農林水産業費

農業の発展のために

緊急生産調整推進対策費	2億1,586万円
農業振興費	2億0,357万円
農業総務費	1億6,343万円
農業委員会費	4,044万円
農産物産地育成事業費	3,825万円
21世紀型水田農業モデル事業費	1,246万円
..... など	

土木費

快適な町づくりに

公共下水道費	1億3,826万円
道路新設改良費	1億2,718万円
土木総務費	6,136万円
道路維持費	4,660万円
橋りょう維持費	2,034万円
都市計画総務費	1,915万円
..... など	

消防費

安心な暮らしのために

非常備消防費	2億0,035万円
防災費	1,733万円
..... など	

総務費

住民サービスの向上に

水と緑のふれあい公園整備事業費	5億2,163万円
一般管理費	2億7,010万円
共同利用施設建設費	6,420万円
税務総務費	6,081万円
企画費	4,149万円
戸籍住民登録費	3,784万円
賦課徴収費	3,659万円
騒音対策費	2,242万円
..... など	

教育費

教育と文化の向上に

小学校費	7億1,335万円
学校給食費	1億2,824万円
中学校費	9,555万円
社会教育費	8,088万円
教育総務費	6,092万円
幼稚園費	3,131万円
..... など	

衛生費

清潔で健康な生活のために

塵芥処理費	2億8,949万円
環境衛生費	9,970万円
老人医療給付費	8,183万円
医療福祉費	5,637万円
し尿処理費	5,196万円
保健総務費	4,267万円
衛生総務費	2,340万円
老人保健対策費	2,016万円
..... など	



歳入

58億
292万円

地方交付税

20億0,337万円

町税

9億5,949万円

町債

6億9,490万円

繰入金

5億0,992万円

諸収入 3億3,894万円

繰越金 3億1,349万円

国庫支出金 2億7,883万円

県支出金 2億6,027万円

地方譲与税 1億1,932万円

その他 3億2,439万円

歳出

54億
3,525万円

総務費

11億7,287万円

教育費

11億2,020万円

民生費

7億2,539万円

農林水産業費

7億0,805万円

衛生費

7億0,632万円

土木費

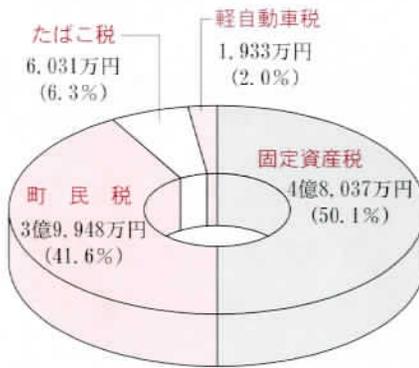
4億3,448万円

公債費 2億3,871万円

消防費・商工費 2億2,279万円

議会費 1億0,644万円

町税収入の内訳



特別会計決算状況

☆国民健康保険特別会計

歳入 9億8,258万円

歳出 9億3,155万円

☆老人保健特別会計

歳入 9億7,602万円

歳出 9億7,587万円

☆下水道特別会計

歳入 6億3,605万円

歳出 5億6,542万円

☆水道事業会計

・収益的収入および支出

収入 3億2,645万円

支出 2億7,491万円

・資本的収入および支出

収入 1,393万円

支出 9,640万円

町税負担状況



財政支出状況



※人口 12,021人 世帯 3,183世帯 (平成10年4月1日現在)

※金額は一万円以下を省略しました。

ガイド

役 場 84 2 1 1 1
 F A X 84 4 3 5 7
 水 道 課 84 2 3 6 1
 つつみ会館 86 3 7 4 0

保健センター 84 4 4 8 6
 学校教育課 84 3 3 2 2
 生涯学習課 84 2 8 4 3
 (中央公民館)
 給食センター 84 2 8 4 5
 福祉センター 84 3 6 9 9

みんなの窓



お知らせ

生活

平成11年分所得税の
確定申告

3月15日(水)まで

申告・納付期限の3月15日
 間近になると、税務署の窓口
 は大変混雑し、長時間お待ち
 いただくようなことになりか
 ねません。申告は自分で書い
 て、できるだけ早めに提出し
 てください。申告書は郵送し
 も提出できます。



2月の納税

- ◆ 国民年金保険料 11期 ◆
 - ◆ 固定資産税 4期 ◆
 - ◆ 国民健康保険税 6期 ◆
- 徴収日は2月29日です。

サラリーマンの 還付申告

サラリーマンで、1年間の
給与収入が2,000万円以
下の人は、通常、年末調整が
行われていますから、確定申
告をする必要はありません。

しかし、①震災・風水害・
 火災などの災害や盗難・横領
 によって自分や自分と生計を
 一にする親族の住宅・家財・
 現金などに損害を受けた場合、
 また、自分が災害などに関連
 してやむを得ない支出をした
 場合で、その損害が一定額を
 越える人②自分や自分と生計
 を一にする親族のために支払っ
 た医療費が一定額を越える人
 ③年の途中で退職して年末調
 整を受けなかった人などは、

確定申告をすれば源泉徴収さ
 れた税金が還付されること
 があります。

問合せ先 竜ヶ崎税務署
 ☎66-13303



ハローワークが 新しくなりました

II 竜ヶ崎公共職業安定所 II

ハローワーク竜ヶ崎は、1
 月31日に新しい庁舎に移転し
 ました。

新庁舎移転後の、求人閲覧
 コーナーが変わり、皆様ご自
 身が、求人検索システム(コ
 ンピューター)を利用し、竜
 ヶ崎職安に申し込まれた求人
 募集を探すことができるよう
 になりました。どうぞ、ご利
 用ください。

■ 移転先

龍ヶ崎市若柴町1229-1

竜ヶ崎公共職業安定所

☎60-2727 (代表)

1月 町長の動き

- 4日(火)御用始め、社会福祉協
 議会年頭あいさつ、ふるさと
 かわち年頭あいさつ
- 6日(木)龍ヶ崎市消防出初式
- 7日(金)町長会議、町長・
 議会議長合同新年懇談会、農
 業委員会新年会
- 9日(日)町消防出初式
- 10日(月)成人式典
- 11日(火)牛久沼運営協議会、民
 生委員協議会視察研修
- 13日(木)塵芥処理組合管理者会
 議 (12日)
- 14日(金)町安全協会新年会、生
 板小PTA新年会
- 18日(火)農業センサス説明会、
 空港公団報告会、稲北病舎組
 合議会
- 19日(水)ゲートボール部理事会、
 予算査定
- 21日(金)郡遺族会新年合同役員
 会、田中酒造来庁
- 24日(月)入札、塵芥処理組合事
 務打合せ
- 25日(火)ボランティアさつき会
 新年会、旧塵芥処理跡地検討
 委員会委嘱状交付式、水道査
 定
- 27日(木)食糧ジャーナルインタ
 ビュー、県社会教育主事会中
 央研修会、商工会新年会
- 28日(金)町負担金審議会、町
 教育研究発表会、介護保険策
 定委員会
- 29日(土)県遺族連合会県外研修
 会 (30日)

善意のご寄付

(敬称略)

- 長竿小学校 P.T.A 13,000円
- 友人会チャリティゴルフ 30,000円
- 矢島小林工業株式会社 55,860円
- タキイ種苗株式会社 500,000円



社会福祉協議会へ

休日診療 当番医

◇江戸崎地区

【3月】

5日 鈴木クリニック 0298-92-3640

12日 江戸崎病院 0298-94-2611

19日 角崎クリニック 0297-87-6030

20日 矢野整形外科 0298-92-2127

26日 津村医院 0298-94-2719

◇竜ヶ崎地区

*上段が内科、下段が外科です。

【3月】

5日 山村医院 66-0555
朝野医院 62-0178

12日 八代内科医院 64-1710
牛尾外科病院 66-6111

19日 山本医院 66-3348
五十嵐医院 62-0936

20日 横田医院 62-0047
西新道外科医院 62-0855

26日 三石内科クリニック 62-2234
野村医院 62-6561

*診療を受ける際は、必ず電話で確かめてください。



産業別最低賃金表

業種別	1日	1時間	発行年月日
鉄鋼業	5,856円	734円	H11.12.31
一般機械器具製造業	5,805円	726円	H11.12.31
電気機械器具製造業	5,786円	723円	H11.12.31
精密機械器具製造業	5,786円	723円	H11.12.31
各種商品卸売業	5,623円	702円	H11.12.30

産業別最低賃金の5業種について昨年12月30日及び31日からそれぞれ改定されました。|| 知っているつもりじゃだめです最低賃金 ||

茨城県産業別最低賃金が改定されました

教育ローンと 利子補給制度

教育は子どもに残せる最高の財産



茨城県勤労者育英基金では、勤労者のお子様の教育応援として、労働金庫の教育ローン利用者に対し利子補給を行っています。

【ろうきん教育ローン】
■対象学校 幼稚園から大学
■融資金額 最高300万円
■返済期間 15年以内(在学
中)

中は元金返済据置き可、親子レター返済あり)

■保証 県労信協の保証

■金利 年2・875% (変動)、3・30% (固定)

※金利は平成11年10月1日現在の金利

【育英基金の利子補給制度】
育英基金とは、勤労者の教育費の負担軽減を目的に、県・市町村・労働金庫が出資をしてつくられた公益法人です。
在学中(最長4年以内)はお子様一人当り100万円(二家庭300万円)までの融資金額に対し、年1%の利子補給を受けることができます。

■問合せ先
労働金庫美浦支店
☎0298-853435
※詳しくは最寄りの労働金庫窓口へお問い合わせください。

3月のゴミ収集カレンダー

資源回収日				燃えないごみ収集日			
A地区	7, 21	C地区	14, 28	A地区	11	C地区	25
B地区	8, 22	D地区	1, 15, 29	B地区			
燃えるごみ収集日				プラスチックごみ収集日			
全地区	毎週月曜日と金曜日			全地区	毎週木曜日		
粗大ごみの予約収集日				3月中の予約 → 4月1日			
■問合せ先 都市計画課 環境衛生係 ☎内線155、156							

心配ごと相談所

- ・3月1日(休) 午前10時～正午
- ・3月15日(休)
- ◆会場 福祉センター
- ◆問合せ先 社会福祉協議会 ☎84-2830

ぼくの わたしの

夢

[源清田保育所]



石井 稜介くん
サッカー選手



北嶋 亮太くん
サッカー選手



谷津 圭亮くん
警察官



岡野 晃之くん
おもちゃ屋さん



内田 圭人くん
どうもろこし屋さん



町田 雄太くん
車屋さん



中川 諄子ちゃん
ファッションデザイナー



長尾 綾華ちゃん
パーマ屋さん



成毛 真由ちゃん
保母さん



上符 夏実ちゃん
お花屋さん



海老原あきちゃん
歯医者さん



俳句

かわち俳句会

米寿なほ泰然として寒に入る

田沼和子

年ごとに亡妻に似し娘の初鏡

田中康夫

坂道を遠まわりして初詣

鴻野たけ

前向きに生きて年始を迎えけり

吉田四郎

初日の出坂東太郎すなおなり

根本たけし

恋の芽をしかと育てて春近し

山田幸夫

ときめきの世紀の夜明け初日の出

飯島ヨシノ

黙す樹をゆらし鴉の御慶かな

田中白芽

おらが窓ほそめに開けて寝正月

大森つや

初夢をしかと布団にしまひけり

川口ふく

通訳のつきし幼なの初電話

大関さと

龍の字をはべらすのみの賀状かな

飯塚 まさよし

心打つ病苦の友の賀状読む

平川和楓

連れ添ふて初詣する二千年

諸岡 勇

あすを待つ心のはずむ春降り

津根としお

三日はや笑顔はなやぐ朝の膳

橋爪 かん

餅花を飾りし息子農に生く

山本 かつ子

すずなりの袖かがやけり空の果

杉原利代

鶴と亀祝納むる二十日かな

大塚 一重

幾年も願ひ変らぬ初詣

石井 一江

御殿場は寒風強し襟立てる

細谷 雨月

短歌

かわち短歌会

長命の母痛痛し癌病みて逝きたる姉に絶って泣いて

年齢のことは言はずに氣力満たしをり新年迎ふ老いの年男

火を止める阿呼の刻を計りつつ真夜を五たび薫口を訪ふ

散り果てし山茶花に残る蕾あり咲かざる意志を固く包みて

古稀といふ齡ひ迎へしあらたまのごまめはさらにほろにがきかな

※十二月号の短歌で一部誤りありました、お詫びして訂正文を掲載いたします。

八十八年生き来し不思議言ふ母に景知事よりの褒美届きぬ

山田 幸夫

山口 かげ郎

久松 浩洋

青木 保

野平 数生

山田 幸夫

山田 幸夫

町の歴史 あれこれ

町史編さん嘱託員 鈴木 久

(55)

源清田の 「あわんとり」



残したい子ども行事

小正月の鳥追い、二十五日の天神講、七月の祇園など大人たちが懐かしく思い出す子どもが楽しい行事が次第に姿を消していくのは残念です。

河内町の源清田地区では羽子騎や保村で今でも地元で「あわんとり」もしくは「あわのとりの」とよぶ鳥追いの行事が続けられています。茨城新聞に「引き継ぎたい『あわんとり』」として源清田地区の様子が紹介されましたが、今回は詳しく紹介したいと思い、羽子騎子供会会長の佐藤則夫さん宅を訪問して話

をうかがいました。奥さんの清美さんからは昨年と今年に「あわんとり」の次第を丹念に記録したメモを見せていただきました。こうした心遣いが貴重な行事を続けさせていく力となるのでしょうか。おじいさんの博己さんからも苦労話をうかがうことができました。

一週間前から準備

羽子騎集落は五十戸、うち子供会にはいつている家が十七戸、中学三年から保育児まで男子が十三名、女子が十七名合わせて三十名と、ここも少子化は避けられないようです。準備は「あわんとり」の一月十四日の一週間ほど前の日曜日を選び、男子だけが参加します。以前は年長の中

学生が中心となつて小屋をつくりましたが、ここ十年親子が中心になっています。今年には子供会会長の佐藤さんの田圃に集まり、まず笹の葉のついた長い竹を中心に立て、周りに一回り細い竹を十二本ほど立て、上から縄でしぼるようにして円錐形にし、子どもたちが持ち寄った藁を積み上げていきます。

ならせ餅を焼いて

一月十四日、各家では「ならせ餅」をつき椿や樺の枝にさし大黒柱に飾ります。午後四時半頃から、会長、副会長の運転する軽トラックに男の子がついて各家々から正月飾り、注連縄、門松などを集め、小屋に運び込み、六時、年長の中学生が藁に火をつけます。



集まり、子どもたちのお楽しみとなります。

「あわんとり」のいわれ

「あわんとり」はアワノトリ、ドンドヤキ、ドンドンヤキ、左義長など呼び名は違ってもほぼ同じ内容で全国各地で小正月の一月一四日ないしは十五日に行われています。

今年には前に二日間も雨が降つたので、大人たちか燃えるようないろいろと世話をやきました。燃えさかる火に子どもたちは男の子も女の子もそれぞれその日ついた「ならせ餅」を篠竹に刺したのを突きだして焼きます。それを食べるとその年は風邪をひかないと言われています。

パツカパツカ祝います

七時から子どもたちは二班に分かれて集落内全戸を柵の底を箸でたたきながら、パツカパツカ祝います

祝います
もとからうらまでなります
なります

と囃しながらお金を貰って歩きます。八時頃には集会所に

その名の由来についてははっきりしません。中国から伝わった行事であるとか、ドンドヤキは火の燃え上がるさまをそのまま現したものとされています。また囃し言葉に龍ヶ崎、藤代、利根、取手などでは火を燃やし餅を焼くとき「アワノトリホイホイ、ヒエノトリホイホイ」とはやしたり「厄よけ虫よけほーいほーい 中竹はねろよ ぼーんぼん」(利根町立木地区)などのはやしが加わったりしているのを見ると、「あわんとり」の語源は粟、稗などの穀物を荒らす鳥や虫の害を除き、五穀豊穣を願い病厄を防ぐ行事だと考えられます。こうした子どもの行事は、子どもの心を豊かにしていく大切な財産としていつまでも引き継いでいきたいものです。

戸籍の窓 1999年12月・2000年1月届出分 (敬称略)

おめでた			おくやみ		
赤ちゃん	保護者	地区	氏名	年齢	地区
裕也	豊田正男	砂場	飯島千代	83	田川
真白	秋本真一	新橋	羽鳥光	80	羽子騎
裕佳	長谷川裕一	上金江津	飯塚新之助	85	庄布川
優樹	岡澤浩	田川	杉山茂	86	古河林
拓未	金澤恭志	平川	川村せい	74	竜丁歩
靖矢	三浦弘枝	下加納	山口充	65	上金江津
義宗	大高好美	竜丁歩	大野サダ	89	田川
実樹	藤田勝実	幸谷	土師千鶴	1	生鍋
理子	海老原誠	西	仲山甲次	75	浄玄
有美	大津勝之	浄玄	町田和男	52	竜丁歩
桃佳	高橋正人	下組	大野志津	84	堀割
聡志	細谷一治	上金江津	青野陽三	69	中金江津
康平	細谷一治	上金江津	加藤宇平	84	片巻
弘樹	江口進	上金江津	高山登美	69	万歳
楓	佐野光幸	下金江津	寺嶋清	45	手栗
		大境	石井イチ	89	浄玄
			根本良夫	81	上金江津
			小島とし	85	大鍋
			古手歳男	59	砂場
			白鳥よし	84	下加納
			大久保君重	80	三ツ家
			増淵マツ	84	田川
			岡野高	86	堤

*掲載を希望されない場合は、届出の際に申し出てください。

町の人口と世帯
 平成12年2月1日現在
 人口 11,984人 (+10)
 男 5,937人 (+8)
 女 6,047人 (+2)
 世帯数 3,261戸 (+7)

町内の交通事故
1月発生状況 (前月比) (累計)

発生件数	7件 (-9) (7)
内 死者数	0人 (±0) (0)
内 負傷者数	8人 (-20) (8)

竜ヶ崎警察署調べ

※河内町は、1月29日で1年間交通死亡事故ゼロを達成し、2月2日に茨城県交通対策協議会長茨城県知事から表彰を受けました。

生涯学習課

中央公民館 からのお知らせ



月曜日は完全休館日です。
 土日は開館します。(祝祭日は休館)

■ 問合せ先 ■ 生涯学習課 ☎84-2843